

## 農工大の樹 その47



---

### 〈 解 説 〉

---

## ウメ

(バラ科サクラ属の種、*Prunus mume* Sieb.et Zucc.)

この種は中国原産の高さ6 m～10mになる落葉樹で、中国の国花です。日本には西暦700年以前に渡来したと言われ、現在では東北地方以南に広く栽培されています。どこにでも見られる種ですが、300種もの園芸品種があることには驚きです。それほど日本人は古くからこの種の花を好み、愛でてきたわけですから。また、大分県の豊後水道沿いの石灰岩地帯には、野生化したものが分布しており、早春にその地方を通ると雑木林の中にぽつぽつと白い花を咲かせた木を見ることができます。花は強い芳香を持っていますが、近縁のアズキは全くと言って良いほど芳香がありません。ウメとアズキの雑種であるブンゴウメも同様です。この種は庭木、盆栽として利用される他、材が重厚な感じがするので床柱としても利用され、かつては櫛、そろばんの珠、念珠などにも加工されました。また、果実は食用の他、くすべて乾燥したものを薬用としても利用したそうです。この写真は農学部キャンパスに咲く、野梅系「白加賀」と呼ばれる品種です。

(農学部教授 福嶋 司)